

有害物質が埋まる万博へ子どもたちを招待しないでください！

署名開始日：2023年12月19日 大阪府以外の方も署名できます。



吉村大阪府知事は2023年8月30日、府内在住の4～18歳を無料で万博に招待すると発表しました。2回目以降は市町村で検討してほしいと述べました。

しかし、能登半島では2024年1月1日に地震が起こり、その後、豪雨災害も重なりました。資材や労働力不足のなか、「万博を中止し災害復興に注力すべき」との声が高まっています。

また「万博・グリーンワールド(GW)エリア」では3月28日に地中から発生したメタンガスによるガス爆発が起こりました。地下に降りる鉄製扉がひん曲がり天井には穴があくほどの強烈な事故で、人的被害がなかったのは奇跡的だったのではないのでしょうか。このGWエリアは遠足時に子どもたちがお弁当を食べる場所です。ここではメタンガスばかりか、一酸化炭素などの有毒ガスが基準値を何度も超えています。また、GWエリアで土を盛る時は夢洲内の汚染土を使うことが契約書で決められています。

このような有害物質まみれの地で集客施設をつくることは「命の軽視」としか言いようがありません。

能登半島地震で液状化などの被害状況も明らかになるにつれ、湾岸に位置する万博開催地の夢洲は災害が起きやすい場所であり、災害対策が不十分なことがよりはっきりしてきました。

以下に述べるように、万博開催地の夢洲は集客施設をつくってはいけない場所であり、子どもたちを行かせることに強く反対します。

<有害物質が埋まる夢洲>

夢洲はごみの最終処分場として作られた人工島です。有害物質を含む川底の泥や建設残土、産業廃棄物、東日本大震災の原発事故の焼却灰(セシウム)などが埋まっています。子どもたちがバスで来場する駐車場は、有害物質PCBの袋1万袋の上を覆い、コンクリートで固めてつくる計画です。そこに子どもたちは降り立ち、ガス抜きパイプの出ているメガソーラーの横を歩いてパビリオンエリアに行き、爆発事故のあったグリーンワールドエリアで休憩をとることになります。子どもたちの健康被害が心配です。

<災害対策が不十分>

万博の開催期間は、梅雨や台風による自然災害の多い時期です。夢洲は大阪湾上に位置し災害を受けやすい地理的条件です。南海トラフ地震など大きな地震が来れば、津波や液状化などによる甚大な被害が予想されます。一日あたり約15万人の入場者が見込まれていますが、夢洲には避難路が2ルート(橋とトンネル)しかありません。今まで橋は強風で、トンネルは冠水で通行不能になっています。橋やトンネルが使えないと生活物資が途絶える文字通りの孤島になってしまいます。

◆子どもたちの命と健康を守るために以下を要請します。

1. 有害物質による健康被害の危険性がある夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。
2. 自然災害の危険性が高い夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。
3. 自然災害が起きたときに避難が不可能な夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。

名前	住所

<署名呼びかけ団体> 夢洲カジノを止める大阪府民の会

<署名送り先> 大阪市城東区関目 6-4-2-103 / メール stop-casino@vosakaf.net
090-8536-3170

HP→

